

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 入場・受付について

	入場ゲート
選手	Cゲートより入場
競技役員	1F エントランスより入場し、チーム受付・役員受付
引率責任者・同伴者	Cゲートより入場

3. 競技会場入場について

<開門時間>

メイン競技場	両日とも Cゲート 7:30
補助競技場	両日とも 7:30

<利用可能箇所>

	入場ゲート	競技場	補助競技場
選手	Cゲート	メインスタンド・1F 通路	利用可
競技役員	1F エントランス	競技役員控室 メインスタンド・1F 通路	利用可
引率責任者・同伴者	Cゲート	メインスタンド	利用不可

4. 招集について

(1) 招集所は**雨天練習場**とし、招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(2) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに雨天練習所に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・スパイクピン（走高跳は 12mm以下、その他は 9mm以下とする）・規定外シューズ衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ③競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。

5. TR5 競技用靴の対応について

本大会は TR5.2 (TR5：競技用靴) を適用する。

6. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) (着順ではなく) 時間を元にして TR20.3.2 によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。
〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。
〔TR16.5.2〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5 を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技者に対する助力については、TR6.2 を適用するので十分に気をつけること。

- (7) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (8) 競技者は助走や踏切をしやすいするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (9) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔TR25.3.2〕
- (10) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

7. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同一ナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) **アスリートビブス(腰)はトラック競技の400mまでは選手が用意する。800m以上は主催者が用意する。**
アスリートビブス(腰)は、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。
(800m以上の選手は雨天練習場で貸し出す。競技終了後返却すること。)

8. 走高跳におけるバーの上げ方について

種 目	性 別	練習	競 技			
走 高 跳	男 子	1m35	1m40 ～ 1m65	5 cm ずつ	1m68 以上	3 cm ずつ
	女 子	1m15	1m20 ～ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ

9. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

10. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) 競技場入退場時間内に行うこと。
- (3) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (4) 投てき練習会場以外の競技場周辺での練習は禁止する。
- (5) ハードル練習について
- ①本競技場使用時間は、女子のみ開門時刻 ～ 8：45 までとする。(アップを含む)
 - ②男子はサブトラックに設置しているハードルを使用する。
 - ③個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (6) 投擲練習について
- メイン競技場と補助競技場の間に設ける投擲練習場で行い、次の決められた時間帯で行うこと。
また、メディシンボールのみとし、練習できるのは出場選手に限る。

組	1 日目〔男子 砲丸投〕	2 日目〔女子 砲丸投〕
(5)	7：30～8：15	
(3)	9：00～9：45	
(1)	10：30～11：15	
(2)	12：00～12：45	
(4)	13：30～14：15	

※投げる方向は練習会場係の指示に従うこと。

11. 競技場使用について

- (1) 競技場の開門時刻は競技役員 7 時 00 分、選手 7 時 30 分とする。
- (2) 競技場使用許可時間は、メイン、サブともに 7 時 30 分～17 時 30 分であるため、それ以降の使用は禁止する。
- (3) 本部前の通行は一切禁止する。
- (4) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (5) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (6) **競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。**
- (7) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。
- (8) 更衣室の利用については可とする。ただし、更衣のみの利用とし、短時間・少人数を心がけること。

12. 兵庫リレーカーニバルの出場について

- (1) 本記録会において、ハードル 32 名、長距離 30 名、フィールド種目 24 名を推薦する。
出場種目は兵庫リレーカーニバル要項を確認すること。
- (2) 指導者は選手の出場意思を確認しておき、各種目終了後、大会本部で指導者が申込みを行うこと。
- (3) 出場辞退者が出た場合は、繰り上げ推薦をするので注意すること。

13. 競技による入退場について

- (1) 競技が終わった者はダグアウト・スタンド下通路を利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。
その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (2) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

14. 写真（ビデオ）撮影について

悪質な写真（ビデオ）の撮影を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

- ①大会運営本部より許可した報道関係者
- ②大会出場チームの顧問、代表者
- ③大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合がある。

15. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (3) 各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (4) リザルトはWeb と電光掲示板にて掲載する。また C ゲート付近で紙面にて掲載する。
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各チームの責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (6) 競技会当日、午前 6：00 に神戸市に気象警報（波浪以外）が発令された場合、その日の競技は中止とする。
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。